

舞の種類が多く、村中を回る獅子舞

福石荒神社神楽獅子舞



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	ふくいしこうじんじゃかぐらししまい
所在地	備前市三石(福石荒神社)
指定年月日	昭和61年4月4日
解説	福石荒神社の秋祭りに福石神楽団によって奉納される獅子舞。宵宮にはまず当屋(現公民館)の門前で「出立ちの舞」を舞い、ついで行列を整え囃子に合わせて伊勢音頭を歌いながら神社へ練り込む。境内の広場で16種の曲目を舞い、唐子・猿・お多福が獅子をあしらう。翌日には早朝から福石内の氏子全戸を回る「村まわし」が行われる。この獅子舞は播州有年(うね)から伝えられたといわれ、「出立ち」から「村まわり」に至るまでの古式をよく伝えている備前を代表する獅子舞である。
アクセス方法	JR三石駅から車約7分
公開状況	毎年10月の第2土曜・日曜日
設備	
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	福石荒神社神楽獅子舞
よみかた	ふくいしこうじんじゃかぐらししまい
しょざいち (所在地)	備前市三石(福石荒神社)
していたひ (指定した日)	昭和61年4月4日
せつめい	福石荒神社(ふくいしこうじんじゃ)の秋祭り(あきまつり)で行われる獅子舞(しまい)です。神社の境内(けいだい)で16もの曲(きょく)にあわせて舞いが行われます。そのまわりで唐子(からこ)という子どもたちなども獅子舞に合わせて踊ります。さらに次の日には獅子舞が村中を回っていきます。